

株式会社トーア紡コーポレーション

令和5年12月期 第2四半期
決算説明資料

(令和5年1月1日～令和5年6月30日)

令和5年8月10日

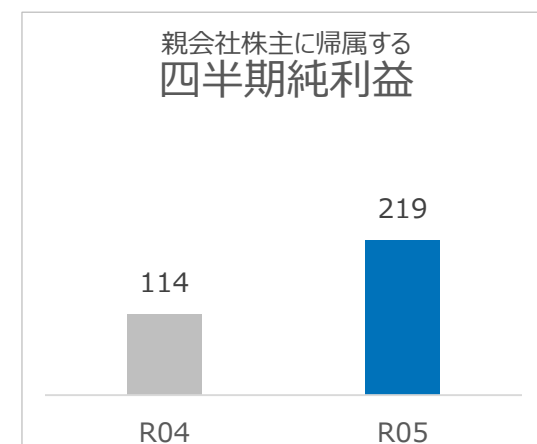
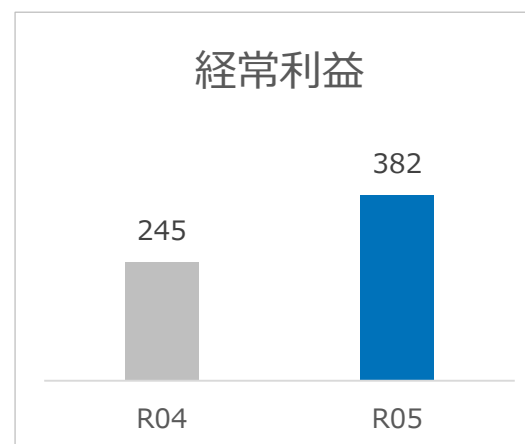
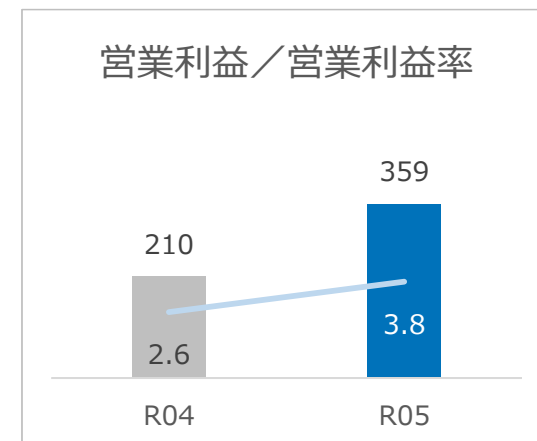
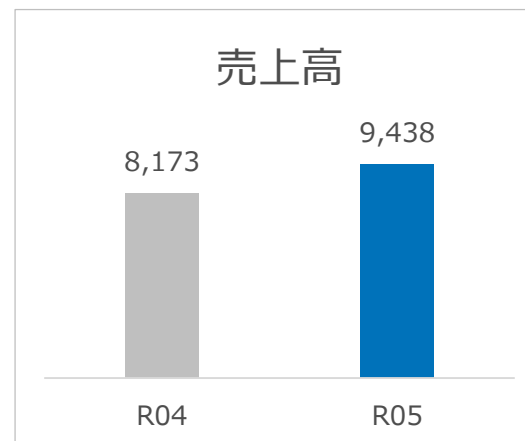
TOABO

- ▶ 令和5年12月期 第2四半期業績 P. 2 ~ 11
- ▶ 令和5年12月期 業績予想 P.12
- ▶ トーア紡グループのSDGs P.13 ~ 17
- ▶ 免責事項 P.18

第2四半期 連結決算概要 (金額：百万円)



	第2四半期累計		前年同期比 増減率
	令和4年 12月期	令和5年 12月期	
売上高	8,173	9,438	15.5%
営業利益	210	359	70.6%
営業利益率	2.6%	3.8%	1.2ポイント
経常利益	245	382	55.8%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	114	219	91.8%



前年同期比で増収増益
通期業績予想に対して計画通りに進捗

第2四半期 セグメント別概要 (金額：百万円)

TOABO

	第2四半期累計						前年同期比 増減率		
	令和4年12月期			令和5年12月期			売上高	営業利益	営業利益率
	売上高	営業利益	営業利益率	売上高	営業利益	営業利益率			
衣料事業	2,791	85	3.1%	3,759	243	6.5%	34.7%	184.0%	3.4ポイント
インテリア 産業資材事業	2,947	0	0.0%	3,542	83	2.4%	20.2%	—	2.3ポイント
エレクトロ ニクス事業	1,250	29	2.4%	826	△8	—	△33.9%	—	—
ファイン ケミカル事業	595	46	7.8%	602	31	5.2%	1.3%	△32.8%	△2.6ポイント
不動産事業	449	275	61.4%	453	263	58.2%	0.9%	△4.4%	△3.2ポイント
その他	140	△11	—	253	△37	—	79.8%	—	—
調整額 (販管費等)	—	△216	—	—	△216	—	—	—	—
合計	8,173	210	2.6%	9,438	359	3.8%	15.5%	70.6%	1.2ポイント

第2四半期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)

衣料事業		
売上高	3,759百万円	+34.7%
営業利益	243百万円	+184.0%
営業利益率	6.5%	+3.4ポイント

業績概要

毛糸部門

- ▶ 各アパレルの展示会も再開され、ニット糸の受注が回復したことにより増収

ユニフォーム部門

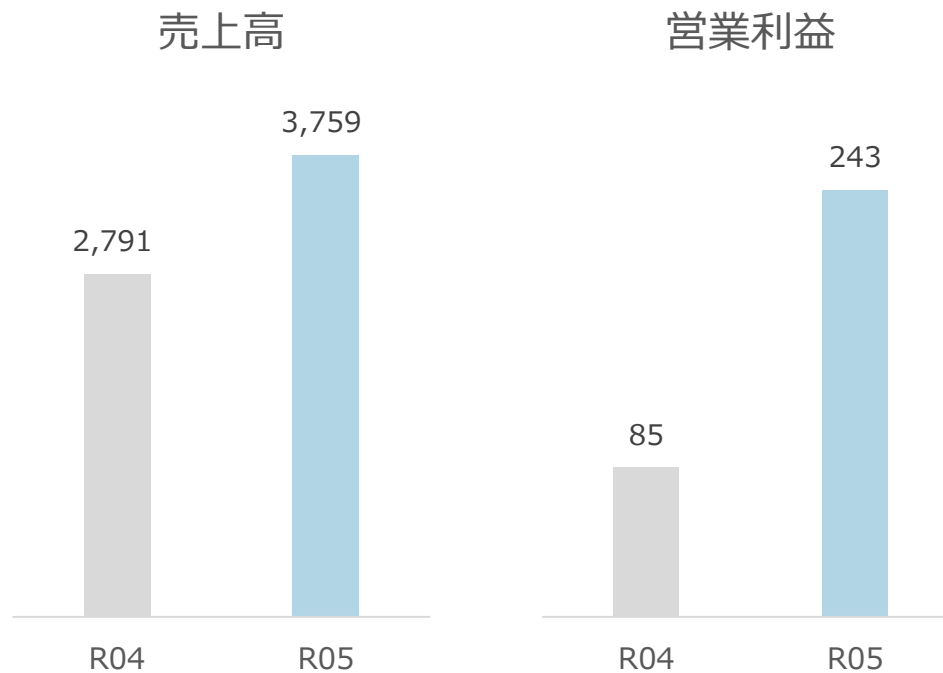
- ▶ スクール制服向け素材は、縫製加工の逼迫化懸念もあり発注の前倒しが加速し増収
- ▶ 官公庁制服向け素材は調達量増加により増収
- ▶ 一般企業向け制服素材は別注案件の獲得もあり増収

テキスタイル部門

- ▶ 需要回復の影響を受け受注が好調となり増収

毛糸製造販売を主体とする中国現地法人

- ▶ 日本市場向けの受注が回復したため増収



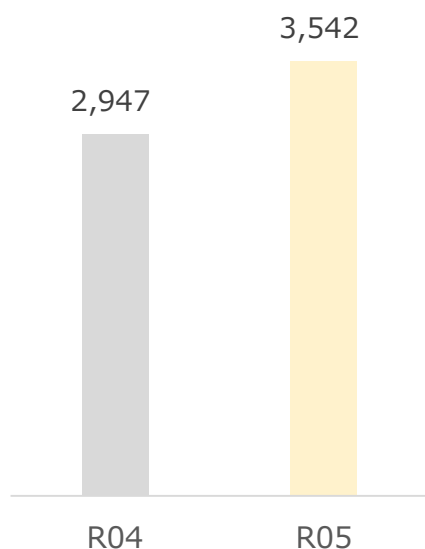
第2四半期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)

TOABO

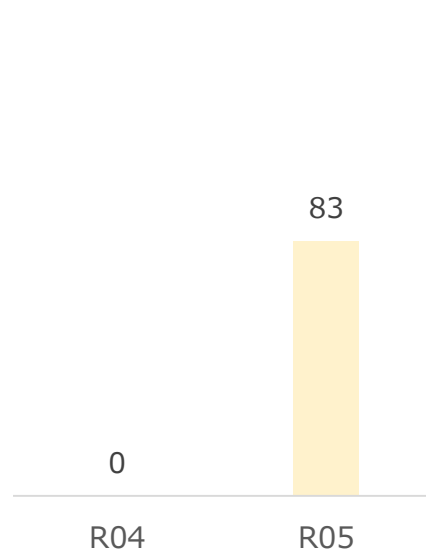
インテリア産業資材事業

売上高	3,542百万円	+20.2%
営業利益	83百万円	前年同期は 営業利益0百万円
営業利益率	2.4%	+2.3ポイント

売上高



営業利益



業績概要

ポリプロファイバー部門

- ▶ 自動車内装材用原綿は自動車販売台数に合わせ増産、カーペット用原綿は展示会、イベント需要が増え増収も、電力、燃料等光熱費負担が増加

カーペット部門

- ▶ 全ての用途で需要が戻るも、急激な原材料、燃料、副資材の値上げにより増収減益

特殊繊維部門

- ▶ カーボン繊維が好調で増産体制に入るも、金属繊維がふるわず減収減益

自動車内装材部門

- ▶ 半導体不足が落ち着き自動車生産台数が増え、原材料・エネルギー代高騰の価格転嫁が出来たことで増収増益

不織布部門

- ▶ 土木、寝装、防草、緑化関連は順調に推移するも、急激な原材料、燃料、資材の値上がりを受け減益

自動車内装材製造販売の中国現地法人

- ▶ 生産数量がようやく回復し増産

第2四半期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)

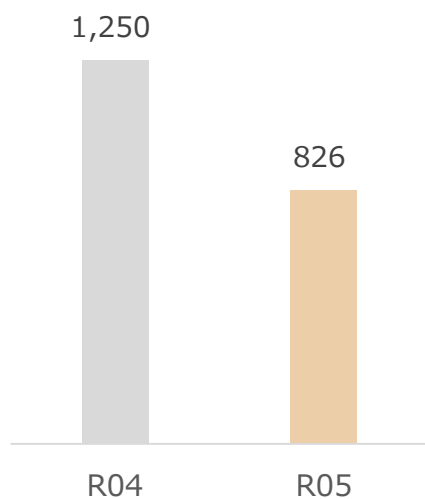
エレクトロニクス事業

売上高	826百万円	△33.9%
営業損失	8百万円	前年同期は 営業利益29百万円
営業利益率	—	前年同期は 営業利益率2.4%

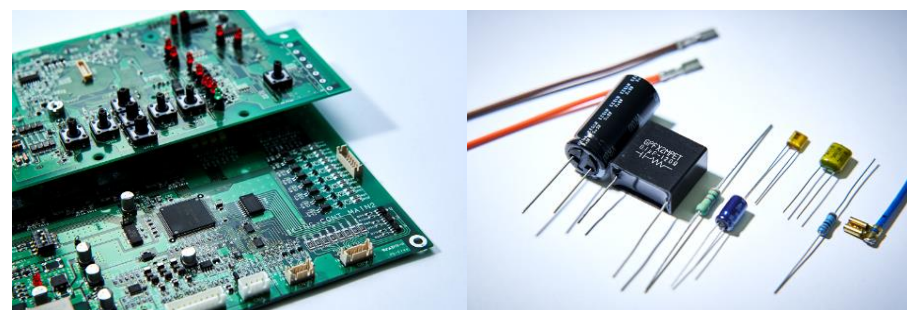
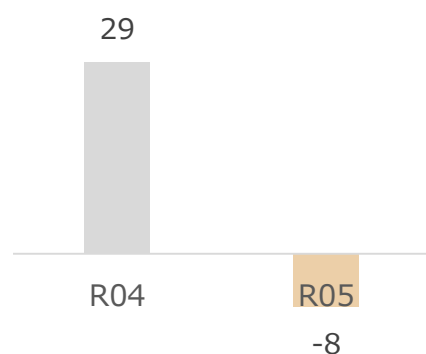
業績概要

- ▶ 主力の電動工具向けコントローラーは、巣ごもり需要の反動とロシアによるウクライナ侵攻長期化の影響を受け大幅な受注減
得意先が在庫消化優先のため新規案件の取り組みも延期
- ▶ 電子部品の販売においても、新型コロナ禍で好調であった温水便座用途や医療機器用途の販売が大きく落ち込み、本格的な受注回復は年末になる見通し

売上高



営業利益



第2四半期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)

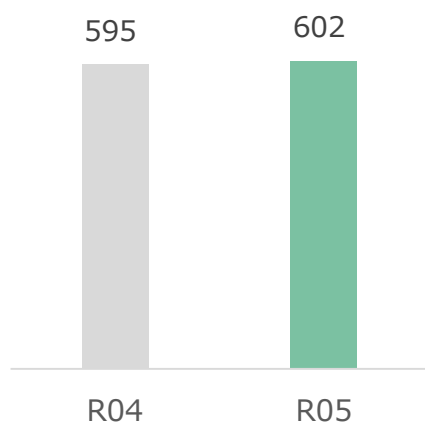
ファインケミカル事業

売上高	602百万円	+1.3%
営業利益	31百万円	△32.8%
営業利益率	5.2%	△2.6ポイント

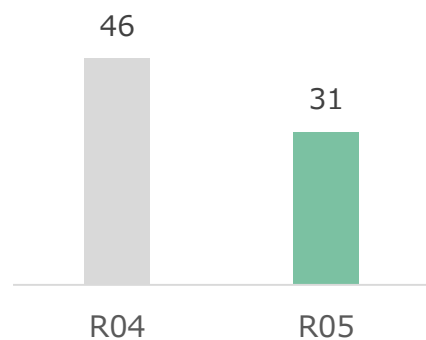
業績概要

- ▶ 電子材料分野は、スマートフォンやパソコン向け機能性材料が在庫調整の影響で低迷するも、半導体プロセス材料の受注が堅調で増収
- ▶ ヘルスケア分野は、ジェネリック医薬品向けの受注が大きく落ち込み減収減益

売上高



営業利益



第2四半期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)

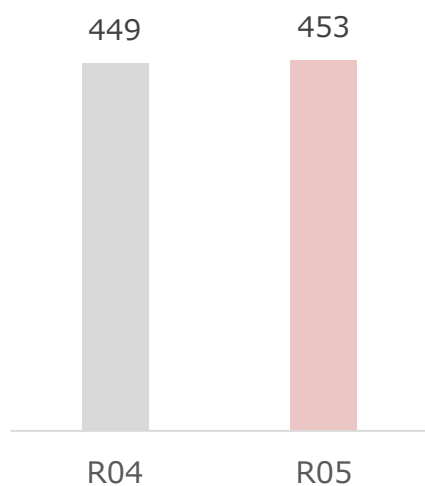
不動産事業

売上高	453百万円	+0.9%
営業利益	263百万円	△4.4%
営業利益率	58.2%	△3.2ポイント

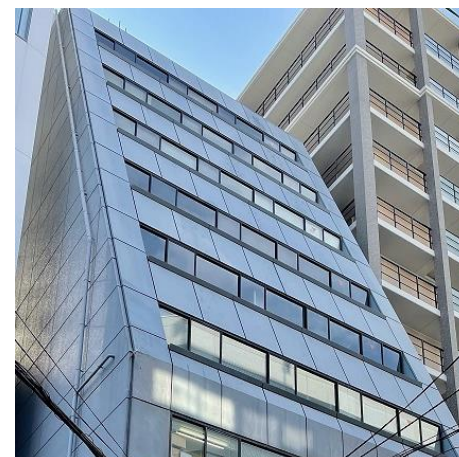
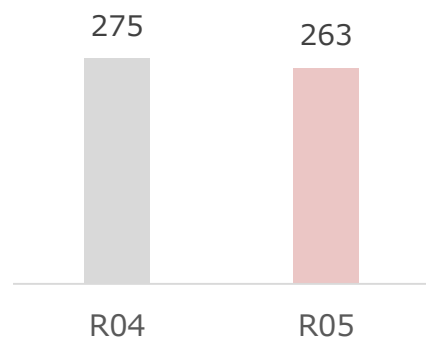
業績概要

- ▶ 一部テナント撤退の影響はあったが、光熱費の値上げの浸透により全体としては増収
- ▶ 販売費の増加により減益

売上高



営業利益



第2四半期業績 セグメント別概要 (金額：百万円)

TOABO

その他の事業		
売上高	253百万円	79.8%
営業損失	37百万円	前年同期は 営業損失11百万円
営業利益率	—	前年同期も利益なし

業績概要

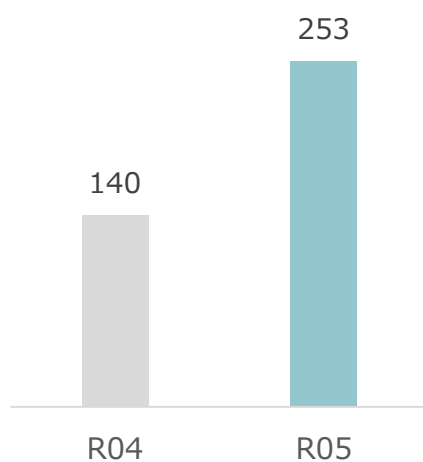
自動車教習事業

- ▶ 大学生をターゲットにした営業活動に注力するも、特に二輪車の入校状況が低調で減収

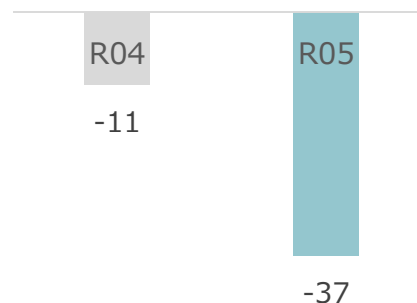
ヘルスケア事業

- ▶ 当第2四半期会計期間よりムサシノ製薬株式会社の損益計算書を連結開始したことにより売上が増加
- ▶ 連結時価評価で棚卸資産が評価益となったものが売上計上されたことに伴い売上原価が増加、営業損失が拡大

売上高



営業利益



第2四半期業績 連結貸借対照表サマリー

TOABO

(金額：百万円)

連結貸借対照表	令和4年12月	令和5年6月	増減
流動資産	10,231	12,835	2,604
固定資産	22,679	23,471	791
資産合計	32,911	36,307	3,395
流動負債	8,533	10,821	2,287
固定負債	12,631	13,337	706
負債合計	21,164	24,158	2,994
株主資本	10,652	10,773	121
その他包括利益累計額	1,085	1,366	280
非支配株主持分	8	8	△0
純資産合計	11,746	12,148	401
負債・純資産合計	32,911	36,307	3,395
(自己資本比率)	35.7%	33.4%	△2.3ポイント

第2四半期業績 連結キャッシュフロー サマリー

TOABO

(金額：百万円)

	令和4年6月累計	令和5年6月累計	
純利益	239	363	<u>営業キャッシュフロー</u> 主な増加要因： 仕入債務の増加 304百万円 主な減少要因： 売上債権の増加 1,940百万円 棚卸資産の増加 186百万円
減価償却費	180	185	
運転資金	△1,040	△1,822	
その他	△163	△187	
営業CF	△784	△1,461	
設備投資	△571	△411	<u>投資キャッシュフロー</u> 主な減少要因： 有形固定資産の取得による支出 404百万円 子会社株式の取得による支出 179百万円
その他	△157	△267	
投資CF	△728	△678	
長・短期借入金増減	1,202	2,279	<u>財務キャッシュフロー</u> 主な増加要因： 長期借入による収入 2,450百万円 短期借入金の純増加額 1,860百万円 主な減少要因： 長期借入金の返済による支出 2,029百万円
配当金	△133	△97	
その他	△1	△4	
財務CF	1,068	2,178	
CF増減	△385	47	

令和5年12月期 業績予想概要 (金額：百万円)



	実績	中期経営計画	予想	前期比増減率	計画対比
	令和4年12月期	令和5年12月期	令和5年12月期		
売上高	17,000	16,500	17,200	1.2%	4.2%
営業利益	516	550	550	6.5%	0.0%
営業利益率	3.0%	3.3%	3.2%	0.2ポイント	△0.1ポイント
経常利益	528	480	480	△9.1%	0.0%
親会社株主に帰属する 当期純利益	269	280	280	4.0%	0.0%

トア紡グループのSDGs

環境配慮の仕組みづくり

GREEN WOOL

VALUE CHAIN

～CSR、環境負荷低減と経済性の実現～



尾州発の新たな環境基準の確立を目指して

東亜紡織(株)と(株)ソトーは、SDGsの達成に向けて『GREENWOOLバリューチェーン』を立ち上げ、『CSR、環境負荷低減と経済性の実現』をミッションとして、羊毛業界のグローバルスタンダードの確立を目指し、構築・運用を進めております。

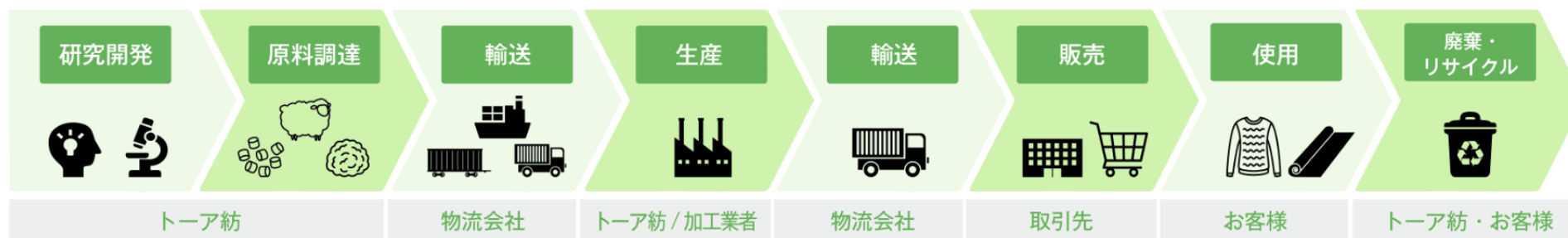
現在、尾州の協力工場などを中心に加盟が進んでおり、ケケン試験認証センターの支援を受けながら、年内にもCO2排出量でベースとなる基準を策定し、目標を掲げられるように取り組んでおります。



2023年度取り組み状況

- ▶ CO2排出量を中心に環境負荷INDEXを作成中
(CSR、品質、トレーサビリティ、環境負荷の定量化)
- ▶ ブランド化の推進中
(製品へのラベル貼付等)
- ▶ 環境配慮取組アイコンを作成中

二酸化酸素総排出量算定への取り組みを開始



**当社サプライチェーンでのCO2総排出量の見える化
(算定の標準化)**

GHGプロトコルに基づき算定基準、計算方法を定め
2021年~2023年のスコープ1,2,3各データを収集し目標値を検討中

トーア紡グループのSDGs



環境にやさしい企業活動

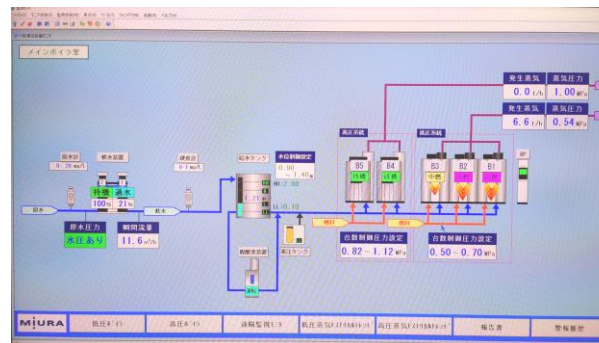


2023年2月にLNGを原料とした都市ガスの導入を完了

- ▶ 既設のLPG設備および重油設備を全て都市ガス設備に移行
(トーア紡マテリアル株式会社 四日市工場)

二酸化炭素排出量および煤塵の削減

- ▶ 二酸化炭素排出量、煤塵など環境負荷物質低減に貢献



人々の暮らしを快適に



海洋マイクロプラスチック問題にアプローチする生分解性素材



実用性と環境配慮を兼ね備えた生分解性素材

東亜紡織株式会社の生分解性素材「バイオハーモニー®」は、天然繊維であるウールと生分解性ポリエステルから作られた地球環境に優しい素材です。

埋め立て環境下や海洋など適切な環境下で、微生物の働きによって水や二酸化炭素に分解されます。

循環型社会の実現



素材のリサイクル・アップサイクル

衣料回収型リサイクルシステム

株式会社アーバンリサーチの廃棄衣料をアップサイクルしたサステナブル
マテリアル・プロダクトブランド「commpost（コンポスト）」。
トーア紡マテリアル株式会社が開発に協力したリサイクル反毛フェルトが
使用されています。



2023年4月17日 アーバンリサーチの廃棄衣料アップサイクルブランド「commpost（コンポスト）」より、新たに登場した「フェルト」素材との組み合わせが特徴的なPCケース

本資料中の業績予想、見通し及び事業計画に関する記述等は、本決算発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、記載された将来の業績を保証するものではありません。

本資料・データの無断転用はご遠慮ください。